

K A W A K A M I D A M 2007  
川上ダム通信 3月号

独立行政法人水資源機構 川上ダム建設所  
〒518-0294 三重県伊賀市阿保 251 番地 TEL: 0595-52-1661 (代)  
<http://www.water.go.jp/kansai/kawakami>

川上ダムの本体早期着工を切望！  
～川上ダム建設促進期成同盟会が対話集会～



パネラー：左から伊賀市今岡市長、三重県伊賀建設事務所宮崎所長、同伊賀水道建設事務所加藤所長、国土交通省木津川上流河川事務所桜井所長、水資源機構川上ダム建設所恒吉所長

いただきました。また、いつも断水の危機にさらされている未給水地域の方、長年洪水被害に悩まされてきた旧上野市街地周辺の方々などから、川上ダムの本体早期着工を切望する思いからの厳しいご意見を多数いただきました。川上ダム建設所恒吉所長からは「皆様の意見を重く受け止め、決意を新たにダム事業者としてもっと主体性を発揮し、事業推進に努力する。」との強い決意表明がありました。

【調査設計課 中原忠義】



意見を述べられる出席者



「川上ダム建設促進に関する要望書」を受け取る恒吉所長

## 環境マネジメントシステム国際規格 ISO14001 認証を取得！

川上ダム建設所では、昨年6月の恒吉所長によるISO14001認証取得へのキックオフ宣言を受けて、プロジェクトチームを立ち上げ、環境マネジメントシステムの構築を開始しました。8月には、恒吉所長から、環境マネジメントシステムの機軸となる環境方針が示され、プロジェクトチームでは、メンバーのほとんどが未経験者でしたが、苦しみながらも試行錯誤して、環境管理マニュアルの作成等を進め、11月には環境マネジメントシステムの運用に漕ぎ着けました。運用開始後は、事業活動から事務活動まで広範に設定した目的、目標の達成に向けて、職員等が一丸となって取り組むことにより環境への影響を低減し、内部監査、(財)日本品質保証機構による登録審査を経て、当初計画より3ヶ月早い3月末、水資源機構の事業所単独としては初となるISO14001の認証を取得することができました。



登録証の授与

※「ISO14001」は、環境配慮の取り組みを効率的かつ着実に実施するための環境マネジメントシステムの国際規格です。

【環境課長 大村朋広】

## みんなが主役の町作りに共感

### ～地域を学ぶ学習会～

平成19年3月16日（金）に伊賀市教育委員会教育部参事の小竹紀忠氏を講師に招き、川上ダム地域を学ぶ学習会を開催し、川上ダム職員と工事関係者の35名が参加しました。

内容は、種生地区の取り組みで、昨今のスローライフスタイルに合わせ都会からのUターン組を期待して、里山環境の保全や伝統文化の継承などの取り組み事例と地域の皆さん一人一人が主役となって参加者が楽しむ町作りの姿が紹介されました。

小竹氏と種生地区の皆さんとが力を合わせ、地域の生き残りに向けた挑戦と住んでいる人が豊かになる町作りへの取り組みが鮮烈に伝わってくる講演でした。 【環境課 北村ゆき子】



講師の話に熱心に聞き入る職員

## 第5回自然環境保全委員会を開催

平成19年3月27日（火）、メルパルク大阪にて「第5回川上ダム自然環境保全委員会」を開催しました。委員会では、各委員会等（オオサンショウウオ調査・保全検討委員会、希少猛禽類保全検討会、植物保全対策に関する技術指導）の審議結果として、オオサンショウウオの保護池での今年度の産卵・孵化状況や、オオサンショウウオ個体群の存続可能性分析（PVA）の結果、希少猛禽類（オオタカ、ハチクマ、サシバ）の繁殖状況（雛の巣立ちを確認）、重要な植物の移植等について報告し、専門家からの指導・助言をいただきました。



委員会の様子

次年度は、本委員会でもいただいた指導・助言を踏まえて、調査や保全対策の検討等を実施します。

【環境課 北村ゆき子】

## 川上ダム事業進捗状況の紹介 付替県道松青線第5工区（その8）工事

現在、川上川沿いの種生地内において、付替県道松青線の最上流部分となる「付替県道松青線第5工区（その8）工事」を施工中です。

本工事では、本線道路の掘削作業のため、現県道を迂回させる必要があったことから、これまでに現県道の迂回路の工事を施工してきました。

2月中旬に迂回路部分の工事が終了し、2/23（金）より迂回路の供用が開始になりました。当日は、職員が交通誘導を行い、地域の皆様に切り替えの周知と交通安全に努めました。

地域の皆様にはこれまでに通行止め等多数のご迷惑をお掛けしてありますが、更なるご協力のほどよろしくお祈りいたします。



迂回路全景

【工事課 田中幸志】

## 青山羽根地区、山立地区、ボーイスカウトの皆様が現場視察



オオサンショウウオ保護池見学の様子

3月3日（土）に青山羽根地区の21名の皆様が、オオサンショウウオの保護池や道路工事現場等を視察されました。



3月18日（日）に大村神社のボーイスカウトの子供たち17名が横坑の見学に訪れました。



工事現場見学の様子

3月21日（水）に山立地区の12名の皆様が現場視察に訪れ、オオサンショウウオの保護池や道路工事現場等を視察されました。

### 第9回

#### 調査のはなし

前回は幼生調査についてお伝えしましたが、川上ダム建設所では、前深瀬川と川上川の流域に生息しているオオサンショウウオの成体も調査しています。

オオサンショウウオは夜行性なので、成体の生息確認調査は夜間に行います。片手に懐中電灯、もう片方の手にタモ網を持ち、川底にオオサンショウウオがいないか目を凝らして確認しながら、川を遡っていきます。オオサンショウウオを見つけたら、タモ網で捕獲して、過去の調査で捕獲したことのある個体かどうかの確認や身体測定などを行います。

成体とは反対に、幼生は昼間に調査します。幼生は全長が4～5cmと小さいうえに、全身が真っ黒のため、夜よりも昼間の方が調査しやすいのです。（つづく）

## ちよつとオオサンショウウオ！



成体調査の様子

【環境課長 大村朋広】

## 建設所紹介⑦ 《第二用地課》

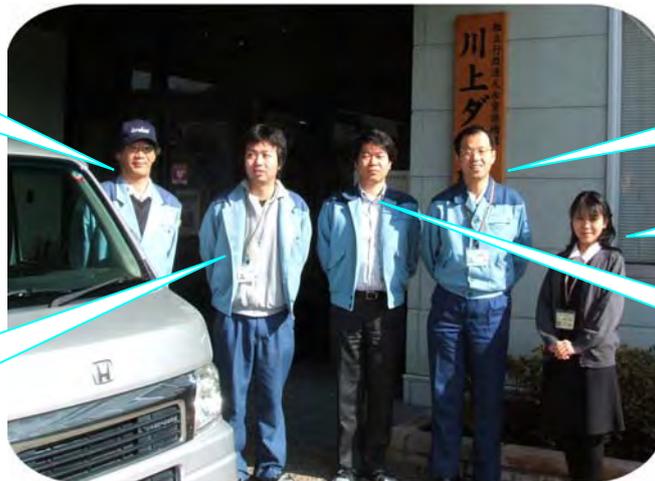
公共補償を担当している山口和宏です。

第二用地課長の芦田哲郎です。

用地全般を担当している中間健一です。

事務補助をしている今枝香織です。

道路補償を担当している城戸伸悟です。



### 連載企画

#### 《第⑥話その2 紀友雄の勝利》

#### 創作『あおちかたこ 阿保千方湖物語』

どちらも動けずににらみ合っているうち、紀友雄は「これは武力では勝てぬ相手だ。地の利も悪い。何か別の策を考えよう」と、恵まれた文才を活かし矢文として歌を射ち込むことにしました。

「草木も木わが大君の国なれば、いづくか鬼のすみかなるべき」

『国を司る朝廷に背けば、いつか必ず天罰が下る』と脅かした歌で敵の心をゆさぶり不安にさせよう、としたのです。この歌は見事に効果があり、四鬼となって戦いに夢中になっていた四天王は、はっと我に返り「さても恐れ多いことをしてしまった。世の反逆者にはなりたくない。千方どの、どうか許されよ」と山城から失踪。『千方窟(ちかたくつ)の風穴』の中に姿を消したといわれています。(つづく)

[川上ダム建設所編集]

### ～平成18年分広報コンテストで川上ダム建設所が特別賞～

水資源機構では、広報活動の質の向上を図るため、各事務所において実施された広報活動のコンテストを実施しています。

平成18年に行われた広報活動についてのコンテストで川上ダム建設所が行った「職員の技術力を活かした地元貢献」が特別賞を受賞しました。

受賞に際して、地元の高校の教職員のみなさんに、研修会を実施したものであり、今後の波及効果が期待できること、また、細かな研修テキストを作成したことは、川上ダム建設所のみならず、全国の事業所の参考になるとの点が評価されました。

【総務課長 上村信幸】

### 編集後記

3月4日(日)に行われた第2回伊賀学検定において、当事務所から2名が受験し2名とも合格いたしました。今後とも地域に密着した事務所を目指してまいります。



#### 【広報誌発行事務局】

編集長 恒吉 徹 (川上ダム建設所長)  
 デスク 上村 信幸 (総務課長)  
 " 北牧 正之 (工務課長)  
 通信記者 武村 剛泰 (総務課)  
 " 立石 浩行 (調査設計課)

☆☆☆皆様からのご意見・ご感想をお待ちしています。ハガキやメール等でどしどしお寄せください。☆☆☆